

「日本シェイクスピア書誌について」（第1回駒澤大学英語英米文学研究会：駒澤大学、昭和62年10月）

拙著『日本のシェイクスピア』（昭和63年2月、エピルス）の出版を前に、日本におけるシェイクスピア書誌の歴史と役割、今後の展望にて発表した。書誌が学術研究にとって基礎資料となっている点を強調し、日本ではこの基礎資料の評価が低いことなども論じた。